

一般社団法人 薬学教育評価機構
2022年度 定時社員総会 議事録

日 時 2022年6月23日(木) 10:00~11:10

会 場 薬学教育評価機構内会議室

出席者：社 員 76名

役 員 (理事長) 西島正弘、(総務担当理事) 白幡晶、(事業担当理事) 河野武幸、
(財務担当理事) 中山和久

事務局 阿部芳廣、大野尚仁、栗原順一、桑原幹夫、橘田萌

(※議決権行使書の開封と集計)

【配布資料】

資料1 2021年度事業報告

資料2 2021年度決算報告書

資料3 2021年度監査報告書

資料4 2022年度事業計画(案)

資料5 2022年度予算(案)

資料6 役員(第2号理事)の補充について

資料7 2021年度薬学教育(6年制)評価結果

資料8 一般社団法人 薬学教育評価機構役員および評価事業関連委員会委員一覧

2022年5月23日開催の第1回理事会において、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応として、2022年度定時社員総会を(1)関係書類の送付(5月26日)、(2)オンライン議案説明会(6月9日)、ならびに(3)本会議(議決権行使書による書面決議、6月23日)で行い、その結果の報告をもって社員総会とすることとした。また、総会への出席は、議決権行使書の提出をもって確認することを、オンライン議案説明会で社員に周知した。

1. 理事長挨拶

議案説明会(オンライン議案説明会)の冒頭、理事長から、定時社員総会の議案説明会(オンライン議案説明会)に参加いただいた各社員に謝意が述べられた。

第2期の評価基準に基づく第三者評価が、コロナ禍のため開始が1年延期され、2021年度に第2期最初の評価を3大学が受審したこと、評価委員会主導で大学とのコミュニケーションをとって行うことになったが、コロナ禍のため訪問調査は主にオンラインによる大学との意見交換と、訪問時閲覧資料の確認の形となったことが述べられた。また、薬学教育プログラムの向上には、大学の真摯な自己点検と評価の取り組みが重要なことが強調され、さらに、大学に求められている内部質保証に基づく教育の質の向上のため、PDCAサイクルは大学が日常的に実施していくことを再認識して、自発的に改革に取り組んで欲しいこと、このためには大学教員一人一人がこのことを認識して臨むことが重要と述べられた。

次に、第2期の2回目の第三者評価が始まっているが、機構として適切な評価が行えるよう一層の努力を重ねる所存であるので、各社員のなお一層の支援・協力をお願いされた。

2. 出席状況及び定足数の確認

事務局長より、正会員81大学・団体のうち、76の大学・団体が出席（議決権行使書の数）しており、本機構定款14条に基づき社員総会（本会議）の開催が成立したことが確認された。

3. 議事録署名人の指名

理事長より、寺田勝英氏（高崎健康福祉大学薬学部長）、舟橋達也氏（松山大学薬学部長）の2名が議事録の署名人として指名された。

4. 議題

承認事項

議案説明会では、承認事項は、（1）2021年度事業報告、（2）2021年度決算報告書及び監査報告書、（3）2022年度事業計画（案）、（4）2022年度予算（案）、（5）役員（2号理事）の補充について、区分して説明を行った。なお、それぞれの区分ごとに質問・意見を聴取したが、質問・意見はなかった。

議決権行使書を開票した結果、次の議案（1）～（5）の承認事項について、以下のよう
に決議された。

（1）2021年度事業報告について （資料1）

河野事業担当理事から、2021年度の活動実績を、特に理事会、運営委員会、総合評価評議会並びに評価委員会の主要な活動内容について報告がされた。議決権行使の結果、議案（1）は異議なく承認された。

（2）2021年度決算報告書及び監査報告書について （資料2、3）

中山財務担当理事より、貸借対照表、正味財産増減計算書等を基に特に約700万円の黒字となったこと、予算対比において決算で約100万円以上の残高がある科目について説明された。また、磯部監事より、会計及び業務の適正性に関する監事の監査結果が報告された。議決権行使の結果、議案（2）は異議なく承認された。

（3）2022年度事業計画（案）について （資料4）

河野事業担当理事から、2022年度の事業計画について、資料を基に概要、特に運営委員会で検討していく事項（評価事業の継続性を持たせるための人的配置のあり方についてのWG、内部質保証による薬学教育の質の向上に関するWG）、来年度の定時社員総会で役員改選があること、本評価を受ける大学、提言に対する改善報告書の審査を受ける大学、但し書きに対する改善報告書の審査を受ける大学についての説明がされた。議決権行使の結果、議案（3）は異議なく承認された。

(4) 2022年度予算(案)について

(資料5)

中山財務担当理事から、2022年度の予算案について、資料を基に概要、特に本評価を受け
る大学が10大学となることから事業収入が約2000万円増えること、予算上、事業費と管理
費の按分比が66:34となっていることが説明された。議決権行使の結果、議案(4)は異
議なく承認された。

(5) 役員(第2号理事)の補充について

(資料6)

事務局長から、日本病院薬剤師会会長の木平理事が退任され、武田泰生氏が会長となり、
日本病院薬剤師会から機構の第2号理事候補者として選出されたことが資料により説明さ
れた。議決権行使の結果、議案(5)は異議なく承認された。(武田氏の任期は、木平理事の
残任期間である2023年の定時社員総会の終結時まで)

(ア) (第2号理事)退任

木平 健治(日本病院薬剤師会)

(イ) (第2号理事)選任

武田 泰生(日本病院薬剤師会)

報告事項

報告事項(1)~(3)については、事務局長から、それぞれ報告・説明がされ、質問・意
見を求めたが、発言はなかった。

(1) 自己評価2021の公表について(山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部)

事務局長より、新設校である山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部が、4年次完成年度
に行った自己評価2021の結果が、2022年4月11日、当該大学のホームページに公表され
たことが報告された。

(2) 2021年度薬学教育(6年制)評価結果について

(資料7)

2021年度に本評価を受審した3校の評価結果(2校が適合、1校が適合(但し書き))が、
資料7に従って報告された。

(3) 役員および評価事業関連委員会委員について

(資料8)

2022年4月1日時点における役員及び評価事業関連委員会委員について、資料8により、
報告された。

連絡事項として、事務局長から、総会への出席は、議決権行使書の提出(2022年6月21日が締
切日)をもって確認することを、各社員に周知した。

以上、議事の経過及び結果を明確にするため、この議事録を作成し、定款第19条第2項によ
り、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

2022年6月23日

議長	一般社団法人薬学教育評価機構 理事長 <u>西島 正弘</u> (押印済)
議事録署名人	高崎健康福祉大学 薬学部長 <u>寺田 勝英</u> (押印済)
議事録署名人	松山大学 薬学部長 <u>舟橋 達也</u> (押印済)
議事録作成人	一般社団法人薬学教育評価機構 事務局長 <u>阿部 芳廣</u> (押印済)